



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ 

6月号 JUN 2016

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

5月20日  
宮崎県の圃場  
定植遅れの影響により  
サイズにバラツキが大  
きい。  
反収は3.5t~4tの見込  
み。



5月27日前橋市契約圃場はまずまずの出来

## おんなごころとたまねぎせいいく

まず最初に皆様に謝らなくてはなりません。マルト便5月号では「府県産玉葱概ね順調」ということで産地状況をご報告させて頂きました。しかしながら府県の玉葱情勢は急変。いっぺんに凶作へと傾いてしまいました。6月2日時点の東京市場の玉葱相場はL品が5,000円/20kgに迫る高値の状況です。今期府県産玉葱の状況は最悪と言わざるを得ません。予測が全く逆を行ってしまいました。大変申し訳ありません。

今期局地的にはべト病の蔓延等により反収減が聞こえていましたが、弊社契約産地については概ね順調な生育で進んでいました。急変の話が聞こえてきたのが、ゴールデンウィーク明け頃です。

九州地方では4月中旬以降降雨が続いていました。また気温が高く推移していたそうです。結果として病気が一気に広がり、降雨のため病気の防除もできず、ちょうど中・晩成種が肥大期に入ったところで生育が出来なくなってしまい、反収が大幅に減少してしまったとのこと。今期見込み反収6~7トンで見ていたところ実態は3・5トン程度となってしまいます。

結果として契約条件の玉葱についても大幅に減少となる見込みです。現在弊社においても玉葱の物量確保に奔走しているような状況です。昨年も7月~9月において玉葱数量不足によりお客様にご迷惑をおかけしたことを深く反省し、対策をとってきたつもりではありましたが、昨年を大幅に上回る凶作となる見込みで対策が追いつかない状況ではあります。

まだ府県産の中晩成種がスタートする前からこのようなご報告をするのは大変恐縮ではありますが、今年も玉葱の供給計画において各社様にご相談をさせて頂くこととなるかと思えます。とりわけ8月の玉葱原料が困窮することが予測されます。各種情報の取得、代替原料の確保等最大限努めて参ります。何卒状況をご理解賜れますようお願いを申し上げます。

## 出張報告（中国/山東省）

出張は曇天が多い営業中村です。5月27日～29日の3日間、山東省にある中国剥き玉葱指定工場と玉葱圃場を視察してまいりました。天候はときたま晴れ間もありましたがほぼ曇天か小雨でした。到着前日は30℃を超える真夏日だったそうです。

2週間後に収穫を控えた玉葱の生育は順調でした。訪問時はちょうど倒伏したところで、畑によっては水やり作業をしておりました。充分に肥大しておりますが、ここからさらに大きくなり、2L中心で仕上がると思われます。国内への入荷は6月下旬頃です。

周辺は小麦の産地でもあり、収穫時期は玉葱とほぼ同じだそうです。また、上の写真の奥に写っているのはじゃがいも畑ですが、こちらも収穫を控えております。忙しい時期になりますね。

この地域では玉葱の収穫後にトウモロコシ(飼料用)を蒔きます。玉葱、小麦、トウモロコシ、じゃがいもを連作しないように畑を変える(輪作する)ことで病気や生育障害を防いでいます。

大陸性気候により雨は少なく、湿度も低いいため、病気の発生しにくい環境になっています。

小麦、トウモロコシ、玉葱はほとんど農薬を使用しません(使用するとコストが合いません)ので、安心安全な玉葱をお届けできます。

詳細は中村までお問い合わせください。



## 営業課長中村のマルチ便PLUS！ Ver2016

今月もどうぞよろしくお願いたします。  
6月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	6月は加熱用途向けのお客様へは出来る限り北海道産にて供給いたします。サラダ、生食使用のお客様へは府県産地(佐賀、群馬)へ切り替えを進めております。産地により水分値、糖度に大きく差の出る時期ですので、品質面ご要望ございましたらご連絡ください。4月下旬から西日本は雨天が続き、病気が発生したため玉葱は大きな被害を受けています。現在代替産地の玉葱確保に奔走中です。
中国	順調に入荷しております。6月下旬ころから山東省へ切替を予定しております。価格高騰することがあるとすれば要因は①国産玉葱の状況悪化による需要増 ②残留農薬違反による特定産地への需要増の2点が考えられます。①について、国産玉葱は危機的状況のため多少の影響が予想されます。②については2年続いており(弊社指定産地のものでは違反事例なし)、今期も注意が必要です。
NZ(黄玉、赤玉)	NZ産の黄玉葱は、国産状況の悪化によりNZ産地へのオファーが殺到。産地は日本向けの販売を終了しており、日本国内へは契約分の入荷しかありません。探しても見つからない状況です。赤玉についても追加枠がなく、アメリカ産が出てくる10月までは既存のお客様向けへの販売のみとさせていただきます。品質については黄玉、赤玉ともに良好です。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315